

メディアプレーヤー
MP-03

補足説明

HTML コンテンツの制限事項

MP-03 用オーサリングソフトウェア Signage Manager を使ってウェブページを番組にしたものを「HTML コンテンツ」と呼びます。

本書は、MP-03 で HTML コンテンツを再生する際の制限事項を記載しています。

MP-03 の取扱説明書の「9-3. HTML コンテンツについて」もご覧ください。

[重要]

● MP-03 はウェブページをサイネージのコンテンツとして表示できますが、ウェブページが正しく表示できない場合があります。MP-03 は汎用のウェブブラウザとして使用することを想定した設計はされておりませんので、ウェブページをサイネージとして利用する場合は事前に必ず MP-03 で動作を確認してください。

- MP-03 でウェブページの操作は行えません。
- MP-03 は Flash コンテンツをサポートしていません。Flash コンテンツが埋め込まれているウェブページは正しく表示されません。
- 動画の表示解像度や映像出力の向き（横長／縦長）によっては、スムーズに再生できない場合があります。
- MP-03 の解像度に合わせて HTML コンテンツを作成することをおすすめします。解像度が合っていないと拡大／縮小によって画質が劣化する場合があります。
- パッケージ内に複数の HTML コンテンツを登録する場合、HTML コンテンツが切り替わる際に数秒間のギャップが発生します。その場合は、HTML 自身の記述でページジャンプを行い、複数の HTML コンテンツを切り替えることでギャップは回避できます。
- MP-03 でサポートするコーデックのうち、HTML コンテンツにおける対応／非対応は次のとおりです。（○：対応、×：非対応）

動画コーデック	音声コーデック
- H.265 ×	- AAC-LC ○（コンテナ：.mp4）
- H.264 ○（コンテナ：.mp4）	- MP3 ○（コンテナ：.mp3）
- MPEG-2 ×	- MP2 ×
- WMV9 ×	- LPCM ○（コンテナ：.wav）
	- WMA Standard ×
	- WMA Pro ×

